

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

記入日:	2024 年 12 月 14日
事業所名:	夢門塾ゆうゆう御幸

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	5	1		・部屋数があるので運動と学習スペースと分ける事ができている。 ・利用人数によってはスペースが取れているとは言えないので活動内容や物の配置の工夫をする。
	②	職員の配置は適切である	3	2	1	・体調不良などの急な休みの時は人員不足になる。 ・研修など事前に分かっている時は他事業所から応援に来てもらっている。
	③	衛生面の管理が行き届いている	6			・毎日室内と車の掃除、消毒を行っている。 ・おもちゃの消毒は適宜行っている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返りに)、広く職員が参画している	6			・毎月ミーティングを実施して目標の振り返り、再設定を行っている。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	6			・年1回実施して結果を職員と共有して改善につなげている。
	⑥	自己評価の結果を公開している	6			・HPにて公開している。
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	6			・年間を通して社内研修のスケジュールを設けており、月1回の研修、会議を行っている。 ・個別で社外研修にも積極的に参加している。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	6			・毎月カンファレンスを行い職員間で意見交換して立てている。
	⑨	活動の計画をチームで行っている	6			・月1回活動決めミーティングを行っている。勤務時間が異なったり、公休などの職員には予め提案してもらっている。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	6			・他事業所の活動を参考にしたり、インターネットで調べたりして新しい内容を取り入れている。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	5	1		・平日は運動中心。祝日・長期休暇は調理、お買い物などの社会性を課題として設定している。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	4	1	1	・日々の状態で必要に応じて活動が出来るように配慮しているが、個別活動が出来ない時もある。
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			・毎日の申し送り時に情報を共有し分担決めをしている。勤務時間が異なる職員には申し送りノートで確認してもらっている。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			・毎日記録をして情報共有し改善策の話し合いをしている。不十分な所もあるので記録の取り方の改善も必要。
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	6			・保護者様と電話や面談にてモニタリングを行い見直している。
⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	6			・基本活動とその他の活動を取り入れているが偏らないように工夫していく。	

関係機関、保護者様との連携	⑰	学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	2		・毎日下校表で確認をしているが、急な変更があった時の連絡が不十分な場合がある。 ・送迎時に話を聞いたりしている。
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	3	3		・併用の児童発達支援事業所と情報交換を実施している。 ・学校との情報共有は送迎時に行っている。
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	2	2	2	・該当する利用児がいた時は支援内容の情報を提供できていた。 ・該当する利用児がいなかった為わからない。
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2		・放デイ連絡協議会に入り研修などを受けている。
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	6			・送迎時やお迎えに来られた時に情報共有したり状況をお伝えしている。
保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	6			・契約時に一つ一つ説明を行っている。
	㉓	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	6			・送迎時などに対応している。必要があれば専門職のアドバイスを実施している。
	㉔	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	6			・年に数回親子行事や保護者懇談会を開催して場の提供をしている。
	㉕	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6			・今まで苦情がないが、あった時は迅速かつ適切に対応していく。
	㉖	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	6			・毎月、夢通信・夢だよりなどを発行して活動内容や行事を記載している。
	㉗	個人情報保護に十分注意している	6			・全職員が意識できるように伝えている。
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			・コドモンや送迎時に様子を伝えている。 ・子どもたちには個々の特性に合わせた伝え方をしている。
	㉙	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	3	3		・地域の企業に職場体験に行ったり、ゆうゆう祭りや夢まつりが行われている。
	非常時などの対応	⑳	緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	6		
㉑		非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	6			・年に3回避難・防災訓練を行っている。
㉒		虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			・年に1回全体研修として確保されている。
㉓		いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	6			・契約時に十分な説明を行っているが現在該当する利用児がいない。
㉔		保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	6			・以前はダブルチェックをするなど行っていたが現在該当する利用児がいない。
㉕		ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	6			・毎回職員間で共有して今後の対応の検討することで再発防止に努めている。
保護者様評価、自己評価についてまとめ						
<ul style="list-style-type: none"> ・職員間での業務や子供たちの情報共有は行えていると思うので、より良い支援ができるようにしていく。 ・自己評価で出来ていない項目もあるので、一人ひとり意識を持って出来るようにしていく。 						